

千葉大学大学院園芸学研究科博士前期課程
2024年10月入学及び2025年4月入学

入 学 試 験 問 題

ランドスケープ学コース
(環境造園計画学 領域)

指定科目
(Designated Subjects)

(注意事項)

1. この冊子は監督者から解答を始めるよう合図があるまで開いてはいけません。
2. 監督者から解答を始めるよう合図があったら、最初に解答用紙に科目名、志望領域、受験番号を記入すること。
3. 届け出た科目以外で受験すると失格となります。
4. 解答用紙が2枚以上ある場合は、それぞれに科目名、志望領域、受験番号を記入すること。

1. Do NOT open this question book until instructed by the supervisor.
2. Right after you are instructed to start the examination, fill in your subject, program, and identification number on the answer sheet.
3. If examinations are not taken in the designated subject, you will be disqualified.
4. When you use two or more answer sheets, write your subject, program, and identification number on each sheet.

地域計画学 1/1

問1. 次の中から4つを選んでそれぞれ200字以上400字以内で説明せよ

【各15点 計60点】

- ① 市街化調整区域の課題
- ② 市民緑地認定制度の意義
- ③ 立地適正化計画
- ④ 集合住宅団地の再生
- ⑤ 農村地域の空き家管理と活用
- ⑥ 文化的景観と空間構成原理

問2. 地方都市のある観光地を想定する。自治会では、観光振興を目的とする住民参加型地域づくりを計画するが、観光に関連する生業に関わる世帯と、観光に関連する生業に関わらない世帯では、観光振興に対する意識が大きく異なる。

- 1) この計画の課題設定の問題点
- 2) 両方の世帯の意識差を包摂する地域づくりの進め方
についてそれぞれ述べよ

【各20点、計40点】

風景計画学 1/4
Landscape Planning 1/4

以下に示す Question-A と Question-B どちらか 1 つを選択し、解答せよ。解答用紙に日本語又は英語で記入せよ。

Select the Question-A or Question-B provided as below and answer on the attached answer sheet in Japanese or English.

Question-A. 風景計画の理論と調査 Landscape planning theory and research

Question-A を選んだ場合は、以下の(1)と(2)の 2 問を回答せよ。

If you choose Question A, answer the following two questions (1) and (2).

Question-A (1)

次の 5 つの用語から 2 つ選んでそれぞれ説明せよ。(20 % × 2)

Select two terms from the following five terms and explain each one. (20 % × 2)

- ① 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）
Invasive Alien Species Act
- ② 自然再生基本方針 Basic Policy for Nature Restoration
- ③ 小笠原国立公園 Ogasawara National Park
- ④ 文化的景観 Cultural Landscape
- ⑤ 日本人の伝統的な自然観 Japanese traditional view of nature

風景計画学 2/4
Landscape Planning 2/4

Question-A (2)

以下の①から③の小問すべてに答えなさい。(20 %×3)

Answer all three questions from ① to ③ below. (20 %×3)

近年、都市化や気候変動など、様々な要因によって風景は大きく変化している。これらの変化に対応し、将来にわたって美しい風景を保全・創造するためには、時間軸、多様な価値観、持続可能性を考慮した風景計画が不可欠である。以下の3つの小問に答え、持続可能な風景の実現に向けた風景計画について考察しなさい。

In recent years, landscapes have undergone significant changes due to various factors such as urbanization and climate change. To address these changes and preserve and create beautiful landscapes for the future, it is essential to consider timeframes, diverse values, and sustainability in landscape planning. Please answer the following three questions and discuss landscape planning for the realization of sustainable landscapes.

- ① 時間軸に沿った風景像について考察する。短期、中期、長期の視点から、それぞれの時間軸における理想的な風景像を具体的に描写する。また、時間軸に沿った風景像を設定する際の注意点や課題について考察しなさい。

Consider landscape images along a timeline. Describe in detail the ideal landscape images for the short, medium, and long term from the perspective of each timeframe. Also, consider the precautions and issues in setting landscape images along a timeline.

- ② 多様な価値観を尊重した風景計画について考察する。風景に対する異なる価値観をいくつか例示し、それぞれの特徴を説明する。また、異なる価値観を尊重した風景計画を作成するために、どのような方法があるか記述しなさい。

Consider landscape planning that respects diverse values. Provide several examples of different values for landscapes and explain the characteristics of each. Also, describe what methods can be used to create landscape plans that respect different values.

- ③ 都市部における持続可能な風景の実現に向けた提言を記述する。持続可能な風景を実現するために、どのような取り組みが必要か。また、関係者間の連携や情報共有の重要性について論じなさい。

Write recommendations for the realization of sustainable landscapes in urban situation. What kind of efforts are necessary to realize sustainable landscapes? Also, discuss the importance of collaboration and information sharing among stakeholders.

風景計画学 3/4
Landscape Planning 3/4

Question-B 風景計画の計画と設計 Landscape planning and design

以下の内容について A4 の解答用紙を横使いにして作図と記述をすること。

- ① 風景計画学の観点からこのような都市近郊の里山環境の動物公園内の生態展示場の今日的意義について記述すること。(日本語 200 字程度) (30 %)
- ② このランドスケープデザインを行う際に配慮すべき事項を 3 つ以上挙げ、記述すること。(日本語各 100 字程度) (30 %)
- ③ 平面図 1 点(概ね 30×30m 範囲 縮尺 1/200)と部分断面図 2 点(縮尺 1/200)を作図すること。平面図にはスケールバーと方位を必ず含めること。図面中には歩行者(大人と子ども)と車椅子利用者を含める姿を入れスケールがわかるようにすること。また、計画する里山の二次林を想定する樹林地や草地の植物種について、それぞれ 3 種以上あげ、図面中に記載すること。(40 %)

里山環境の動物公園における生態展示空間の風景計画

都市近郊の里山環境に設置された動物公園の一部に日本の在来種のタヌキやネズミ類を生態展示場の設計を行うこと。従来型のゲージで囲うような動物展示方法とは異なる、人がその場に立ち入り、小型・中型哺乳類の生息地に入り込む没入感を体験することが可能な場のデザインを行うこと。

設計では以下の点に留意すること。

1. 対象エリア(約 30m×30m=900 m²) (図-1) を造成し、タヌキやネズミ類が逃げ出さないように、H1.5m の擁壁を計画すること、また、その擁壁が外周部からは見えないように造園技法のハハー (HA-HA) のようなランドフォームとすること。
2. 外周園路と生態展示場は 1 箇所の出入口を設け、生態展示場内は野筋のような、なだらかな起伏のあるランドフォームでありつつ、勾配 5% 未満のバリアフリーで面的な回遊空間とすること。
3. 既存樹はないものと考えてよい。また、新たな植栽計画も提案してよいものとする。

Answer the following question with A4 horizontal layout.

- ① Describe the contemporary significance of such ecological exhibition areas in zoological parks within suburban Satoyama environments from the perspective of landscape planning. (100 words in English) (30 %)
- ② List and describe at least three considerations to be taken into account when performing this landscape design. (50 words in each point in English) (30 %)
- ③ Draw one plan (approximately 30×30m area, scale 1/200) and two partial cross-sections (scale 1/200). The plan must include a scale bar and orientation. Include figures of pedestrians (adults and children) and wheelchair users to convey the scale in the drawings. Additionally, specify three or more plant species for the forested and grassy areas of the planned Satoyama secondary forest in the drawings. (40 %)

"Landscape Planning for Ecological Exhibition Spaces in Zoological Parks within Satoyama Environments"

Design an ecological exhibition area for native Japanese species such as raccoons and rodents in a section of a zoological park set in a suburban Satoyama environment. Unlike traditional methods of animal exhibition that involve caging, this design allows people to enter the space and experience the immersion of entering the habitat of small and medium-sized mammals.

風景計画学 4/4
Landscape Planning 4/4

Consider the following points in the design:

1. Develop the target area (approximately 30m x 30m = 900 m²)(Fig-1), and plan for a 1.5m high retaining wall to prevent raccoons and rodents from escaping. This retaining wall should be designed as a landform similar to the ha-ha landscaping technique so that it is not visible from the outer perimeter.
2. The outer perimeter path and the ecological exhibition area should have one entrance/exit. The interior of the ecological exhibition area should feature a gently undulating landform resembling natural trails, and should provide a barrier-free, expansive walking space with a gradient of less than 5%.
3. It can be assumed that there are no existing trees. Additionally, proposals for new planting plans are accepted.

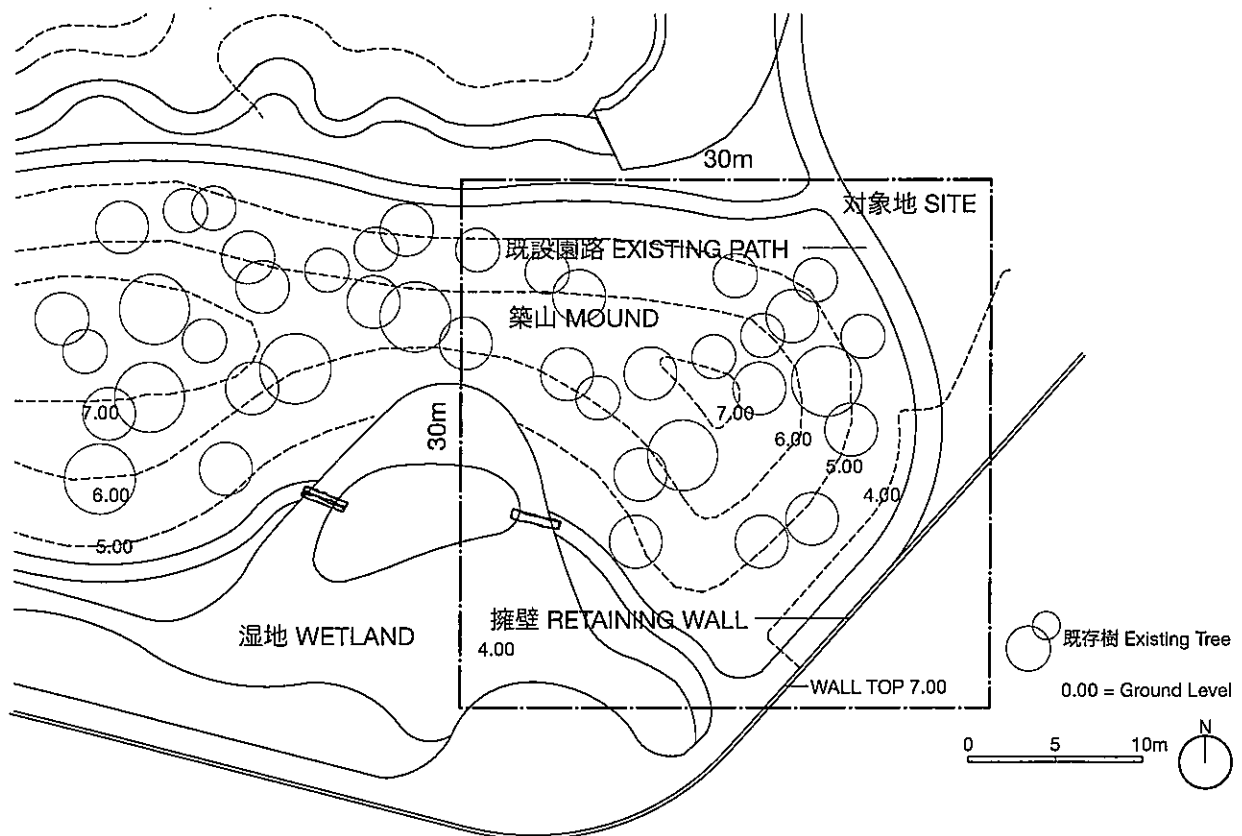


図-1 (Fig-1) 設計対象地 (TARGET SITE)

千葉大学大学院園芸学研究科博士前期課程
2024年10月入学及び2025年4月入学

入 学 試 験 問 題

ランドスケープ学コース
(環境造園デザイン学 領域)

指定科目 (Designated Subjects)

(注意事項)

1. この冊子は監督者から解答を始めるよう合図があるまで開いてはいけません。
2. 監督者から解答を始めるよう合図があったら、最初に解答用紙に科目名、志望領域、受験番号を記入すること。
3. 届け出た科目以外で受験すると失格となります。
4. 解答用紙が2枚以上ある場合は、それぞれに科目名、志望領域、受験番号を記入すること。

1. Do NOT open this question book until instructed by the supervisor.
2. Right after you are instructed to start the examination, fill in your subject, program, and identification number on the answer sheet.
3. If examinations are not taken in the designated subject, you will be disqualified.
4. When you use two or more answer sheets, write your subject, program, and identification number on each sheet.

庭園デザイン学 1/2

問1. 下記の各文中にある（ ）内よりふさわしいものを1つ選び、記号で答えなさい。（各5点）

1-1：魏晋南北朝の最盛期である武帝が広げた戦乱の世は、小国が現れては滅び、人口は後漢の十分の一にまで激減した。ところが、文化面では南北朝を中心にして盛んであった。（A. 道教、B. 儒教、C. 仏教）によるしめつけが弱くなり、老荘の「無為自然」の思想が、山林に情を寄せる士大夫の心を自然や田園へと向かわせた。

1-2：現存する私邸庭園の多くが、江南の諸都市に集中しており、芸術性の高い庭園が多く見られる。（A. 留園、B. 可園、C. 梁園）は蘇州の四大名園の一つと言われ、芸術レベルは清初に最高点に達し、清朝の御苑造営に江南の庭園芸術が大きく寄与したとされる。

1-3：自然樹林の中に建てられているが、光風閣、齋月堂や待鳳台などが置かれた最も代表的な別荘（別荘）庭園である（A. 雲鳥楼、B. 雁鴨池、C. 瀟瀟園）は周囲の自然に溶け込み、空間が無理なく繋がり、うまく調和している。竹林の中の風情のある小道に沿って入って行くと溪流を中心に両側に庭園空間が構えられている。

問2. 以下の問に答えなさい。必要に応じて模式図を用いても良い。いずれの問に対しても、a. と b. のどちらを選択したか、明記すること。（各5点）

（1）以下にあげる語句のどちらか1つを選び、選んだ語句の記号を明記した上で、それぞれ100字程度で、日本の庭園デザインの観点から簡潔に解説しなさい。

a. 深谷光軌 b. 平城京左京三条二坊宮跡庭園

（2）以下にあげる語句のどちらか1つを選び、選んだ語句の記号を明記した上で、それぞれ100字程度で、海外の庭園デザインの観点から簡潔に解説しなさい。

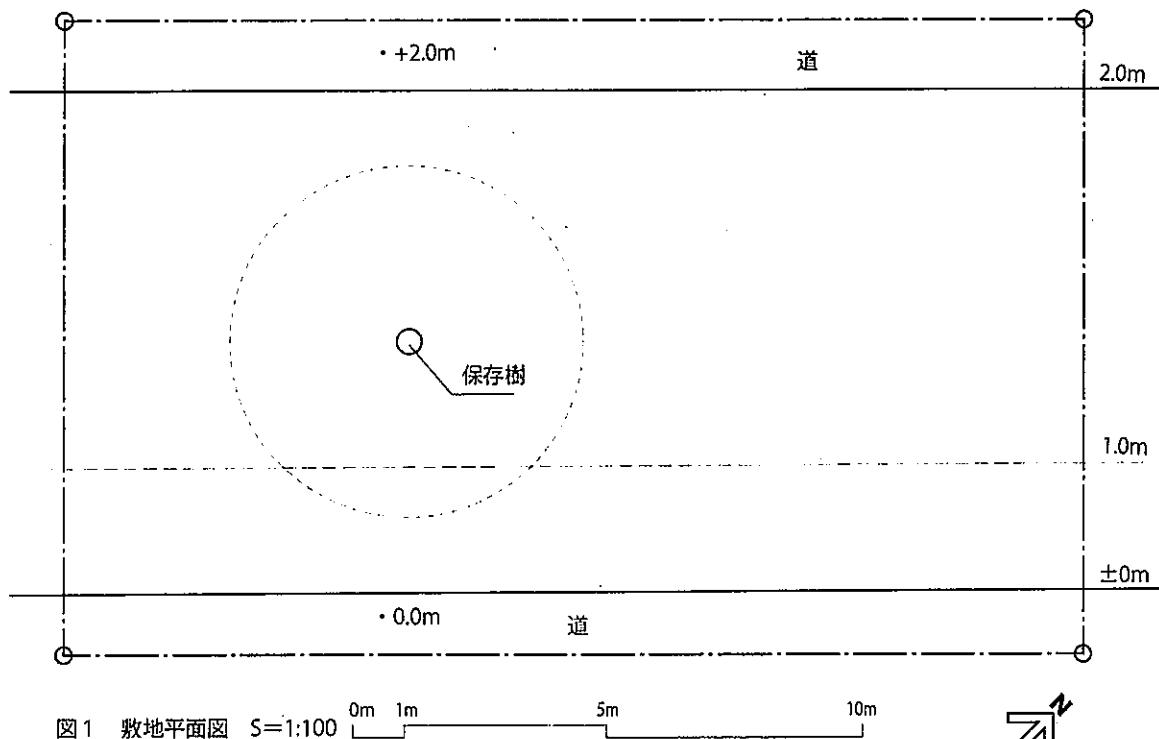
a. ウィリアム・ギルピン b. ヘレンハウゼン庭園

（3）以下にあげる語句のどちらか1つを選び、選んだ語句の記号を明記した上で、それぞれ100字程度で、近代以降の庭園やランドスケープのデザインの観点から簡潔に解説しなさい。

a. ロバート・ブール・マルクス b. プロスペクト・パーク

問3. 別紙A3の解答用紙を用い、以下の指示に従った設計をなさい。(70点)

図1にあるような土地で保存樹を気に入った依頼者のために、一点鎖線で囲まれた範囲に、自動車で乗り付けて、大好きな保存樹とともにひとときを過ごせる場所を設計しなさい。敷地には車でアクセスするので、他の人の交通の邪魔にならないような駐車スペースを計画し、傾斜地の環境を楽しめる場所を考えること。なお、保存樹の樹種は適宜想定し明記した上で、その特徴を活かした設計とすること。図に表されていない周囲の環境については、適宜想像して設定して良い。



解答方法：

- ・ 平面図、断面図を用紙内の指定した位置に必ず描くこと。
- ・ 用紙の左上部に設計案のタイトルを明記すること。
- ・ 平面図には、断面図を作成した位置と向きを表す線（断面線）を記入すること。
- ・ 植栽、舗装、構造物（必要な場合）などによる空間構成を具体的に表現すること。
- ・ 設計意図の説明、空間イメージを表すスケッチや概念図などを適宜加えて良い。
- ・ 提案に地形の改変が含まれる場合は、平面図にその等高線を実線で描き、その等高線に高さを表す数値を、括弧をつけずに付記しなさい。

設計条件：

- ・ 図1に示されているより広域の周辺環境については適宜想定して良い。特記すべき想定がある場合、必要に応じて設計意図と併せて説明を加えること。

注：

解答用紙（別紙A3）の右下部に受験番号を記入すること。

都市環境デザイン学 1/1

以下の問題に、日本語または英語で答えなさい。

Answer the following questions in Japanese or English.

問1. 以下に示す2つの概念の違いについて説明しなさい。(40点)

Question-1 Explain the difference between the two concepts given below. (40%)

(1) 「緑被率」と「緑視率」(10点)

‘Green coverage ratio’ and ‘vertical green coverage ratio’ (10%)

(2) 「営造物公園」と「地域制公園」(10点)

‘Artificial parks (the whole parks as facilities)’ and ‘zoning-system parks’ (10%)

(3) 「気候変動の緩和」と「気候変動への適応」(10点)

Climate change ‘mitigation’ and ‘adaptation’ (10%)

(4) 「ハザード（危険な自然現象）への暴露」と「ハザードに対する脆弱性」(10点)

‘Exposure’ and ‘vulnerability’ to hazards (hazardous natural phenomena) (10%)

問2. 以下の4つの用語について、それぞれ日本語100字程度、または英語50～100語程度で説明しなさい。解答用紙には、選んだ用語を示したうえで説明を書くこと。(40点)

Question-2 Explain the following four terms each in about 100 Japanese characters or 50-100 English words. On the answer sheet, indicate the term and write an explanation about it. (40%)

(1) 公園系統 (10点)

Park system (10%)

(2) 緑の基本計画 (10点)

Basic plan for greenery (Japan) (10%)

(3) 地下水の涵養域 (10点)

Groundwater recharge area (10%)

(4) 生態系サービス (10点)

Ecosystem services (10%)

問3. 内水氾濫*の軽減に貢献しうるランドスケープデザインの手法（機能と形態）について、説明しなさい。(20点)

*河川から水があふれることで発生する浸水（外水氾濫）に対して、下水道管等の許容量を超えた雨水が低い土地等にたまることで発生する浸水現象を内水氾濫と呼ぶ。

Explain the landscape design methods (function and form) that can contribute to reducing the flood from inland waters*. (20%)

* In contrast to flooding caused by water overflowing from rivers (river flooding), flood from inland waters occurs when rainwater exceeds the capacity of sewer pipes and collects on low land.

千葉大学大学院園芸学研究科博士前期課程
2024年10月入学及び2025年4月入学

入 学 試 験 問 題

ランドスケープ学コース
(環境造園管理学 領域)

指定科目

(Designated Subjects)

(注意事項)

1. この冊子は監督者から解答を始めるよう合図があるまで開いてはいけません。
2. 監督者から解答を始めるよう合図があったら、最初に解答用紙に科目名、志望領域、受験番号を記入すること。
3. 届け出た科目以外で受験すると失格となります。
4. 解答用紙が2枚以上ある場合は、それぞれに科目名、志望領域、受験番号を記入すること。

1. Do NOT open this question book until instructed by the supervisor.
2. Right after you are instructed to start the examination, fill in your subject, program, and identification number on the answer sheet.
3. If examinations are not taken in the designated subject, you will be disqualified.
4. When you use two or more answer sheets, write your subject, program, and identification number on each sheet.

緑地環境管理学 1/1

問1. 以下に示す（1）～（5）の用語について説明せよ。（各10点）

- （1）ネイチャーポジティブ
- （2）パークシステム
- （3）市街化調整区域
- （4）里山の生態系サービス
- （5）都市農業振興基本計画

問2. 我が国における都市河川流域（以下、当該流域とする。）の土地利用管理について、以下に示す（1）～（3）の問いに答えよ。

- （1）気候変動に伴い頻発している局地的な大雨等により、当該流域で発生すると考えられる災害や生活への影響には、どのようなものがあるか、具体的に述べよ。（10点）
- （2）上記（1）のような災害や生活への影響を軽減するために、当該流域の緑地はどのような役割を果たすか。田畑、樹林地、都市公園のそれぞれについて、具体的に述べよ。（20点）
- （3）当該流域において災害リスクに配慮した土地利用管理計画を策定する場合、どのような手順と方法が想定されるか、具体的に述べよ。また、計画の実現に際し、あなたの考える最も重要な課題とそれへの対応のあり方はいかにあるべきか、について述べよ。（20点）

環境植栽学

問1. 以下に示す（1）～（5）について説明しなさい。（各10点）

（1）Park-PFI（公募設置管理制度）

（2）屋上緑化の留意点

（3）侵略的な外来種

（4）バリアフリースイレ

（5）縮景

問2. 都市における歴史的な緑地（文化財庭園や神社林など）の具体的な事例を1つ挙げ、その緑地が現在おかれている、造営当初とは異なる変化について、「植物の変化」、「求められる機能の変化」、「周辺環境の変化」、のそれぞれについて述べなさい。また、それぞれの変化に対する課題について説明しなさい。（50点）